



議会だより

北栄



「夢はシンクロデュエット」

北条小学校 プール授業

集合店舗「コナンの里」 2

町政 ここを問う 4

委員会の報告 12



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索

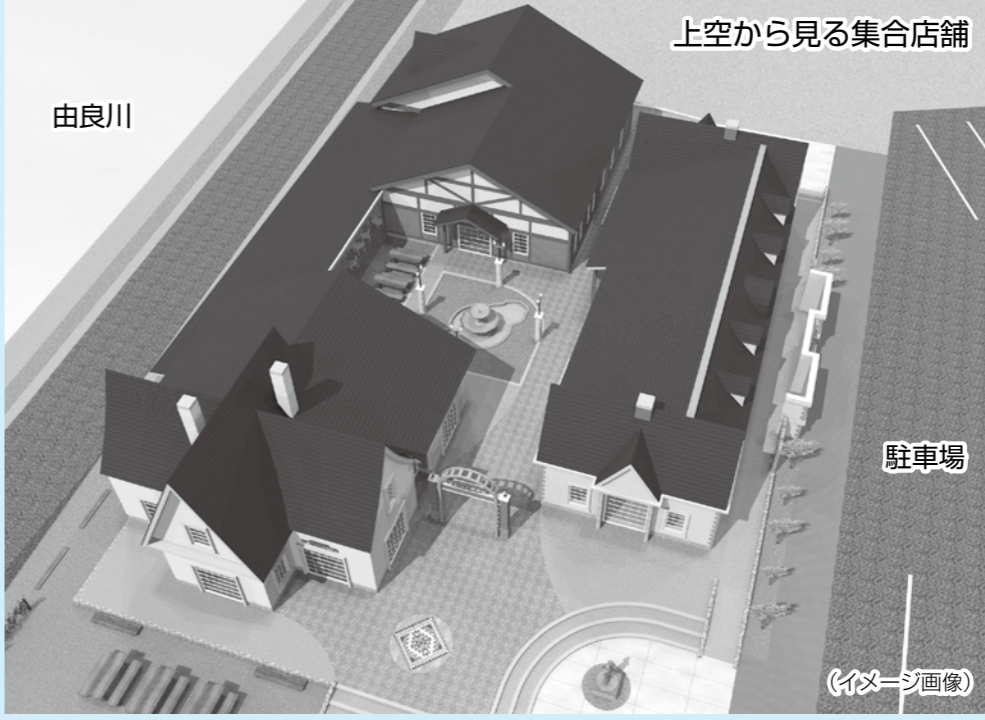


集合店舗「コナンの里」 国・県・町で支援

一般会計補正予算(第2号)

「集合店舗」運営への 無担保貸付金

- 問 油本 朋也**
①集合店舗への入居者数と営業内容は、また、確実に入居されるのか。
②貸付金の返済が滞った場合、無担保無保証貸付では、回収の術がないのではないか。
- 答 手嶋産業振興課長**
①4業者が入居予定である。内容は、①ベーカリー・カフェ②ファストフード③軽食④ジェラート④物販である。事業主体の町商工会では、その予定で準備をしている。特に3業者は、すでに営業実績があり、問題ないと聞いている。
- 問 津川 俊仁**
貸付先と「連帯保証」の有無は。
- 答 西尾副町長**
貸付先は町商工会で、貸付にあたっては役員へ「連帯保証」を求めたい。
- 問 池田 捷昭**
①町が営利目的の民間団体に無担保無保証無利子の貸付は、初めてでは。この場合、金融機関で融資を受け、町は必要に応じて利子補助が常道ではないか。
②補助金+無担保無利子貸付で、本当に経営は大丈夫なのか。
- 答 西尾副町長**
①町発展に関わる重要な事業であり、特別扱いである。
- 問 前田 栄治**
無報酬の役員に「連帯保証人」を求めるとは酷ではないか。
- 答 西尾副町長**
「連帯保証人」は、必要と考える。
- 問 田中 精一**
収支案では、4業者の家賃が年間合計で4902万円となっている。青山剛昌ふるさと館の場合、1業者で昨年度6902万円を納めている。
- 答 手嶋産業振興課長**
収支案の必要ないと考えられる。収支案が甘いのでは。
- 問 松本町長**
②待望の事業であり、大歓迎である。成功するようご声援をお願いしたい。
- 答 西尾副町長**
店舗の場所や取扱う内容が違うので、一律に比較はできない。ただ指摘の内容を再度商工会に伝え、家賃について協議してみたい。
- 問 西尾副町長**
②国庫補助の物件からは、担保をとれない。ひたすら督促を繰り返すことになる。
- 答 西尾副町長**
無責任な収支は、提示すべきでない。むしろ、堅めの数字だと考



6月定例会を、6月10日から28日まで開きました。提案された条例や補正予算など15議案は、すべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第2号及び第3号)は、あわせて8687万円を増額し、予算総額91億7350万円となりました。主な歳出は、旧県運転免許試験場跡地に町商工会が建設する「コナンの

里集合店舗」の事業費補助金と、今後の事業運営に充当するための貸付金1千万円を含め5456万円、畜産振興費779万円、道路維持管理事業費665万円、少人数学級実施負担金500万円、児童扶養手当給付費445万円、窓口業務改革モデル事業1143万円、町とJA鳥取中央が共同出資した(株)北栄ドリーム農場を支援する地方創生推進交付金事業700万円などです。

なお、コナンの里集合店舗事業には、国費7679万円と県費2043万円の助成が見込まれていますが、国費全額と県費のうち700万円は事業主体(町商工会)へ直接交付のため、町予算には計上されていません。

議案の審議結果

専決処分	住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)	(※繰上充用3338万円)	全会一致
	下水道特別会計補正予算(第1号)	(※繰上充用703万円)	
条例	農業委員会の選挙による委員の定数条例を廃止する条例	(農委法の改正に伴うもの)	
	番号法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		
	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正	(農委法の改正に伴うもの)	
	介護保険条例の一部改正	(番号法制定に伴うもの)	
	地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の一部改正(介護保険法の改正に伴うもの)		
補正予算	一般会計補正予算(第2号)	(6843万円)	
	一般会計補正予算(第3号)	(1844万円)	
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	(75万円)	
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	(23万円)	
	下水道特別会計補正予算(第2号)	(57万円)	
	水道会計補正予算(第1号)	(▲469万円)	
その他	財産の取得(マイクロバス1台)	(706万円)	
	工事請負契約の締結(北条体育館耐震補強建築主体工事)	(1億2960万円)	

※ 繰上充用とは……平成27年度の収入不足(未収金)を、平成28年度の予算から前借りすること。

請願・陳情の審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村 裕生 北栄町職員労働組合 執行委員長 福庭 克展	採 択 全会一致	地方財政予算全体の安定確保を図るため →政府に意見書を提出
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	採 択 全会一致	保育の質を確保するため、保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げと財源確保が必要である。 →政府及び国会に意見書を提出



防災・危機管理の対策

自主防災組織の強化

町長 「自助・共助・公助」で



町田 貴子

町長

本町の自主防災組織

は、現在45の自治会で組織されている。毎年、防災訓練や研修を実施している。希望のあった場合には、町は訓練会場に出向き、直接説明や助言も行っている。

全世帯に配布しているハザードマップは、訓練など様々な機会を捉え、繰り返しその内容を周知

町田 災害を最小限に抑えるため、適切な行動が出来るように日頃から危険箇所の把握や防災訓練が必要である。全地域に自主防災組織を設置し「防災マップ」と「支え愛マップ」を一枚にまとめ、各家庭に配布するなど一人ひとりの意識を高める必要があるが、町の対策は。



平成27年の町総合防災訓練（大栄小学校）

してもらったためにある。行政や地域の力だけでなく、個人の力を含めた自助・共助・公助で組織が強化されていくことを基本として、今後もしっかり取り組んでいきたい。

質問分野	質問事項	質問者	ページ
選挙	18歳選挙権	飯田 正征	4
防災・環境	防災・危機管理の対策	町田 貴子	5
	地震対策	斉尾 智弘	
	防災対策	長谷川昭二	6
町の取得物件	前田 栄治		
農業・産業	自然災害	斉尾 智弘	7
	TPPの批准	長谷川昭二	
健康	健康管理を家系図作成で	浜本 武代	8
	胃がん予防	斉尾 智弘	
教育・福祉	運動会での組体操	飯田 正征	9
	子どもの貧困対策	長谷川昭二	
政策	人口増加策	前田 栄治	10
	人材の育成	阪本 和俊	

18歳選挙権

高校や駅に期日前投票所を

選委員長 設置は考えていない

飯田

今夏の参議院議員選挙から18歳以上の者に選挙権が与えられる。鳥取中央育英高校で生徒を対象に「選挙出前講義」や「模擬投票」をしては。

- 1 校内に期日前投票所を設置できないか。
- 2 期日前投票所をJR由良駅や町図書館に設置できないか。
- 3 投票立会人に若者を

選挙管理委員長

- 1 高校が希望された「選挙出前講座」をすでに2回実施した。
- 2 対象となる北栄町在住の生徒は6名と少数のため、実施しない。
- 3 指摘の場所は、大栄庁舎期日前投票所に近い距離にあり、運営人員及び経費等を考慮し、設置は考えていない。
- 4 投票立会人は、事前登録制としているが、若者の登録が少ない。今後、若者に立会人になってもらい選挙に係ってもらいたい。



飯田 正征



大栄庁舎入口の案内

地震対策

少ない耐震診断とBCP

町長 事業の周知と最善の態勢

斉尾

4月に熊本地震が発生した。新耐震基準が導入される以前の多くの建物が被災した。本町では、無料の木造住宅耐震診断事業が実施されているが、利用者は少ない。今後の対策は。

また、災害発生時に本町のBCPは機能するか。

※BCPは救援物資の配布や、被災証明書の発行など、災害時優先業務を実施する態勢を確保するための計画。

町長

平成23年度からの耐震診断の実績は、8件。事業の周知についてはTCCや告知放送、町報でお知らせし、チラシを全戸配布している。今後は各自治会の防災訓練の中でも、周知していく。すでに策定しているBCPに基づき、夜間でも休日でも、いつでも最善の態勢が整うよう努めていく。



斉尾 智弘



熊本地震で被災した民家

自然災害

援農隊を組織化せよ

町長 JAや県と連携で十分



斉尾 智弘

斉尾

春の強風で、スイカのトンネルが破られるなどの被害が発生した。大きな被害だったため復旧を断念された生産者もあった。復旧されないことは大きな損失となる。農業施設に被害を受けた生産者が責任を感じることなく、復旧作業支援を受けられる援農隊の組織化が必要と考える。



平成23年の大雪で被害にあったハウス

町長

災害を予測して、組織化したり登録制などにして備えておくというよりは、日頃より、災害の際の協力体制について関係機関の意思統一を図る必要がある。生産部や地域からの要請を受けて後片付けなどのボランティアを募集し、配置するため、JAや県などと連携すること十分と考えている。



長谷川 昭二

防災対策

避難所だいじょうぶ？

町長 見直しが必要

長谷川

今回の熊本地震で行政の緊急対策上の問題として、避難所・避難場所への物資の供給ルートの早期確保で発生した混乱や、避難所の運営に当たる人材の事前確保、災害関連死を防ぐ上で、エコノミークラス症候群への対応など、課題が浮き彫りになった。福祉避難所、備蓄倉庫など、本町で準備しておくべき対策は。



大米体育館備蓄倉庫の備蓄品

町長

避難所の指定は海拔等を考慮し、見直しが必要だろう。備蓄倉庫は2カ所あるが、そこから各避難所への配送などを考えると、現在の職員体制では不足。宅配・運送業者などと協定を締結し対策を検討したい。福祉避難所の確保も含め、今後は地域の中にも避難所運営に関する意識を高め、その様子を知っていただけの人材を増やしたい。

町政（こ）を問う（防災・環境）

町の取得物件

建物の撤去は

町長 県の支援制度を活用

前田

町有地となった三陽合織跡地の利用には、撤去費補助の関係上、企業誘致しか考えられない。誘致計画をどのように進めていくのか、強い決意を伺う。

町長

町単独での解体撤去は財政面での影響が大きいく、県の支援制度を活用していく方法が最善である。県は事業者や市町村の意見を組み入れ、制度をより活用しやすいようにしている。企業誘置は、県と連携が最良の方法である。



前田 栄治



三陽合織跡地（土下）

TPPの批准

反対すべきだ

町長 反対するつもりはない

長谷川

TPPは農業が中心的産業である本町にとって、生産の減少など大きな打撃になるとが想定される。政府が影響ないとしているコメだけでも、青森ほか5県で独自の試算が行われ、各県の影響額の合計が82億円にのぼる。鳥取県でも独自の試算が必要では。TPPの国会での批准に、反対の意思を表

町長

TPPにより本町の肥育農家、ブドウ農家などへの影響が懸念される。コメは関税制度の維持はできたが、国内需要の減少が価格低下につながり、農家への影響が考えられる。影響額は町独自の算出は難しいが、県はできる限り、日本全体を考えた中で問題であり、反対するつもりはない。TPPの批准に関しては、



長谷川 昭二



肥育農家にも影響が

町政（こ）を問う（農業・産業）

運動会での組体操

廃止しては

教委長 今後も「安全配慮」で実施

飯田 小中学校の運動会で組体操が行われている。団結力は深まるが、一方で骨折などのけがを負い、病院に搬送されるケースが相次ぐなどリスクがある。そのため全国的にも見直をされている。本町でも骨折や捻挫などの事故が発生しているが、事故の責任は誰がとるのか。児童生徒の安全を最優先に、一定の基準を設定するか、廃止してはどうか。

教育委員長 本町では過去、練習中に骨折や捻挫の事故があったが、今春、両小学校運動会での組体操は、無事故で終えている。北条中では近年、組体操を行っておらず、大栄中は昨年、指導教諭が不在で中止し、今年度の実施も未定である。本町では10段ピラミッドのような危険度の高い演技は実施せず、事故防止について再度徹底し、安全面に配慮した取組みとなるよう学校を指導したい。事故の責任は、学校にある。



飯田 正征



平成26年の大栄中運動会

健康寿命の延伸

遺伝家系図の作成

町長 健康講座などで紹介



浜本 武代

浜本 家系図に病気、健康状態、生活習慣、食生活、嗜好など家系情報を図式化することで、一人ひとりのリスクが一目でわかる。問題点を知った上で食生活などを見直し健康管理を行う。家系図を作成すれば家族のつながりが深まり、子孫への贈り物にもなる。健康講座などで普及、啓発を。

町長 家系情報を整理して家系図を作成することは、自分の家系にどんな病気が多いのか改めて気付くきっかけになると思う。遺伝的な病気であっても生活習慣の改善によって発症を防いだり、時期を遅らせることができるという。気付きにつながる一つの手法として、一人でも多くの人に実行してもらうよう健康講座などで紹介していきたい。



遺伝カウンセラーによる講演会



長谷川 昭二

長谷川 子どもの貧困率は16・3割。6人に1人が貧困状態である。特にひとり親家庭は、深刻である。経済支援の重要性をどう認識しているのか。子どもの将来が経済的環境で左右されないといけない。北条町の将来を担う

町長 昨年度からの困窮家庭の中学生を対象にした学習支援事業は、高い評価を受けているが、困窮世帯の子どもの生活実態を

教育委員長 把握することは困難。いかに福祉課の自立相談窓口につなげ支援していくかが課題である。困窮家庭の子どもの生活実態の把握は困難だが、福祉課を中心に情報を拾い、関係機関と連携する。経済的理由が子どもの将来を左右したり、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、確実な支援を進めたい。

子どもの貧困対策
実態調査が必要
把握は困難
関係機関と連携

教委長

町長

把握は困難
関係機関と連携

斉尾 胃がんになる要因は、ピロリ菌によるものが最も高いといわれる。平成26年9月議会で、ピロリ菌の有無を調べる検査の導入について、前向きな答弁があったが、その後どうなっているか。

町長 ピロリ菌の除去により胃がんになりにくくなくても、ならないわけではない。バリウムよりも胃カメラ検査を勧める。ピロリ菌に感染している疑いのある人には、積極的な検査や除菌を呼び掛け、予防に努める。



斉尾 智弘



バリウムより胃カメラ

胃がん予防
ピロリ菌検査を
町長 胃カメラ検査を勧める

追跡 あの質問はどうなった?

Q.火災後の放置された工場跡

【平成24年6月定例会ほか】

【長谷川議員】火災後の放置された工場跡は、損壊の危険があり、所有者に撤去を要請されたい。合わせて⇒「危険建物条例」を整備すべき。

【答】松本町長 所有者に再三要請するも、一向に解体されない。危険家屋を調査し、条例制定の必要性を判断したい。

【平成24年12月定例会ほか】

【飯田議員】空き家が急増している。環境・防犯上の危険もある。解体など行政が代執行できる「空き家条例」を制定し、対処すべき。

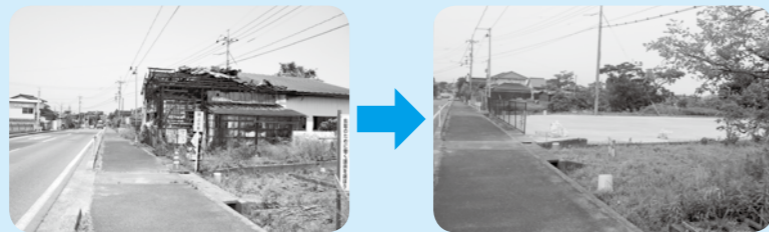
【答】松本町長 調査の結果、空き家状況は、33自治会で163件とその他19件が判明、まだ増加傾向にある。条例制定に向け検討したい。

【平成27年9月定例会ほか】

【田中議員】火災後の放置された工場跡は、いまだに放置されている。平成26年3月制定の「空き家適正管理条例」の効果に期待したが進展せず、不満である。早急に解体・撤去をされたい。

【答】松本町長 あくまでも所有者による解体処分を求め、要請している。所有者も前向きに考えているので、行政処分は考えていない。

A.このほど、解体撤去及び整地が完了。



Q.猫の避妊・去勢手術に助成制度を

【平成27年3月定例会】

【齊尾議員】飼い主のいない猫を増やさないための避妊・去勢手術に、町独自の「助成制度」を創設してはどうか。

【答】松本町長 助成制度の創設を検討してみたい。

A.猫避妊・去勢手術に単町補助を予算化

平成27年12月議会に補正予算が計上。一匹あたり上限5千円の助成、総額10万円盛り込み可決。なお平成28年度からは県助成事業に移行し、一匹あたり上限1万円に拡充した。



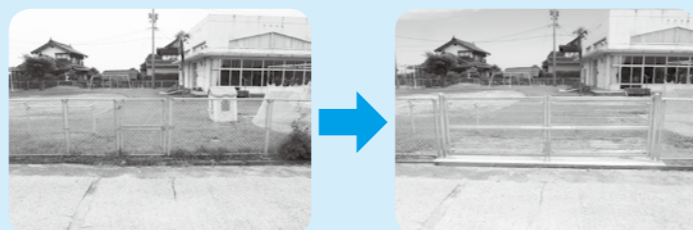
Q.大谷こども園の環境整備

【平成27年6月定例会】

【森本議員】フェンスがさびだらけ。幼児教育の充実はもちろん、環境整備にも力を入れて。

【答】松本町長 至急に対応したい。

A.平成28年6月、フェンスが新しくなった。また、緊急時に救急車が園庭の中まで入れるよう、入口が広がった。



人口増加策

今後の方策は

町長 就労の環境整備



前田 栄治

前田

20代前半の若者の

Uターン（帰還率）を、町では、2040年までに現在の約10割から50割に引き上げるとあるが、その方策は。「0歳児は家庭内で保育を」と推進してきたが、今年から保育料が3人目は無料、2人目も条件次第では無料となり、子どもを預けなければ損だというような声を聞く。家庭内保育をしている世帯をもっと支援するべきである。

町長

若者の帰還率を高める

ためには、雇用・定住・結婚の促進、子育ての環境等の政策が必要である。そのため、町内企業の就職情報を提供する仕組みなどがある。また移住者の支援制度として、移住奨励金、移住促進家賃補助などあらゆる方策をとり、支援、移住促進を図る。家庭内保育の支援は、県では「とっとり型保育のあり方研究会」を立ち上げた。その議論を見守りたい。



仲むつまじく

町政ごとを問う（政策）

人材の育成

地域探究で誇れるまち

町長 家庭・地域・学校の連携

阪本

子どもたちは実際

要である。

町長

子どもたち

の文化、歴史、産業などを見たり聞いたりするなかで、自分たちの住む地域の素晴らしさを理解し、誇りも育まれる。将来、北栄町に住みたいという子どもたちが、10割に満たない現状は異常事態である。親も地域も行政にも責任がある。小中学生にも地域探究の時間が必ず

には、町内の職場体験を通して町の産業や働くことの意義を学び、地域の活性化に貢献できる人材の育成に取り組んでいる。また、授業の一環として前田寛治生誕120年特別絵画展を鑑賞するほか、砂丘開拓のあゆみや由良台場などについて、総合学習で町の歴史や文



阪本 和俊



わくわく大栄で消防業務を体験

化面の理解を深める取り組みを進めている。これらの施策を進め、家庭・地域・学校が連携し協力を図りながら、教育大綱の基本目標に向かって努力することが、次世代を担う人材の育成につながる。と考える。

委員会の活動報告

議員定数・報酬等に関する調査特別委員会

議会・議員のあり方を議論

目指す議会像を実現するためには、多様な層の幅広い住民が議員として参画することが重要という考えのもと、6月6日の第4回委員会では、議員定数・報酬・議員活動のあり方について、次のような意見が出ました。引き続き調査・検討します。

1 議員定数

町民の声を町政に反映していくためには、性別を問わずいろいろな年代、職種の人の参加が求められ、そのため一定の人数が必要となり、定数は現状のまま維持すべきである。

2 報酬

現役世代が議員になろうとしたときに、ある程度の額は必要である。現状が充足されているとはいえないが、社会情勢や近隣町村とのバランスを考え、現状維持が妥当である。

3 議員活動

住民に議会や議員活動への理解を深めてもらうための情報提供や、議員の資質向上、調査活動のために政務活動費の制度化を検討すべきである。

総務常任委員会

「集合店舗」に議論集中

6月14日に開催の総務常任委員会では、6月定例議会に町長から提案された議案中、一般会計補正予算（第2号）に議論が集中した。
町商工会への集合店舗運営のための貸付金1千万円に係る無利子無保証無担保の問題。さらに4入居者の年間総入居料492万円が類似施設に比べて低過ぎるという問題であった。執行部と質疑応答を繰り返したが、議論は平行線で、本会議での議論に委ねることとした。



審議中の委員会

次に、請願第2号「地方財政の充実・強化を求める請願」の取り扱いでは、地方自治体では、子育て支援、医療、介護などの社会保障、被災地の復興、環境対策、交通の維持など果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定及び実行など、新たな課題に直面している。
したがってこれら諸課題に対応するため、地方財政予算全体の安定確保を図る必要があることから、本請願を全会一致で採択し、本会議に提案することを決定した。

産業建設常任委員会

商工会から聴き取り

出合いの広場に商工会が建設を予定計画している集合店舗について、6月15日に産業振興課長から次の3点について説明を受けた。

- ① 商工会の事業に取り組む姿勢・熱意
- ② 事業の収支計画・採算性
- ③ 入居予定テナント



参考人に意見を聴く

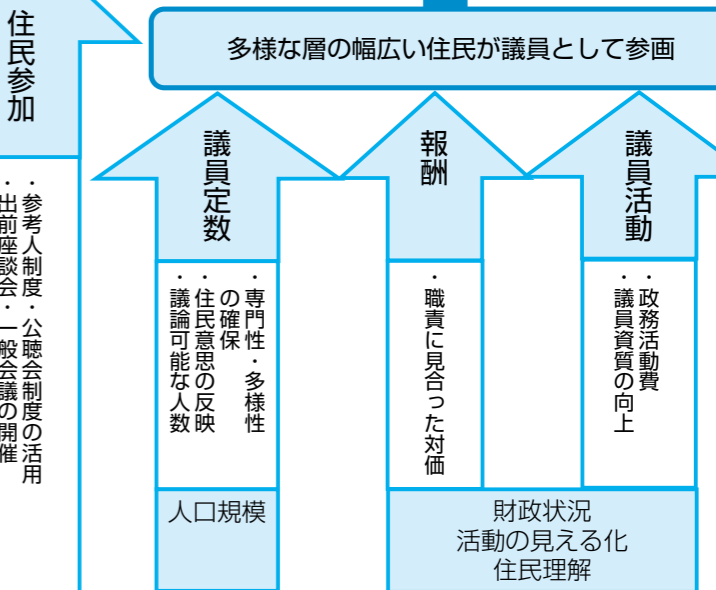
しかし、その説明では不十分という意見が相次いだので、後日、事業主体である北栄町商工会の福井会長と田中副会長、森本事務長を参考人として招き、意見を聴いた。
集合店舗事業の重要性は認識しているが、貸付金や事業運営の詳細については納得に至らず、本会議での議論に持ち越した。
商工会には町の活性化とコナン通りの賑わいづくりのために、集合店舗事業はぜひ成功させていただきたい。

3月定例会で継続審査となった「TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」については、国の動向を見守りたいということで、引き続き継続審査とした。

目指す議会像

- 団体意思決定機能
- 監視機能
- 政策形成機能

多様な層の幅広い住民が議員として参画



	人口 (人)	面積 (km ²)	定数 (人)	報酬 (千円)
北栄町	15,576	56.94	15	224
三朝町	6,807	233.52	12	224
湯梨浜町	17,350	77.94	12	224
琴浦町	18,250	139.97	16	217
倉吉市	49,277	272.06	17	390

参考：第61回町村議会実態調査集計表 (H27.7.1現在)
平成27年度鳥取県市町村要覧

ご意見をお寄せください

TEL 0858 (37) 2445
FAX 0858 (37) 5858
E-mail gikai@e-hokuei.net.

教育民生常任委員会

福祉事業所を視察

福祉事業所の現状と課題、また施設の概要、作業の内容、雇用及び就労の状況について、町内3事業所の現地調査を行った。

トマトの会

障がいのある方が40名程度通って箸やラッキョウの袋詰め作業をされていた。賃金が安すぎる点が今後の課題である。新しくできた生活困窮者自立支援作業所では、ドッグフード用のパン作り作業で元気に働く姿が見えた。

フレンズカンパニー

「共に生き働く」を理念に、働く(仕事)を主体に社会とつながり、施設利用者の自立を目指している。
手焼きせんべいの製造・販売、公共施設の清掃、シール貼り、ダイレクトメールの封入等の作業で、雇用型の就労を確保している。

あゆみの郷

通所者に適した活動内容を工夫し、毎日異なる作業をこなしている。障がいの程度にかかわらず社会生活を送っていかねばならない。

今回訪問させていたいただいた各事業所の存在は重要であり、さらに充実させていかなければならない。



フレンズカンパニーを訪問 (瀬戸)



かわいい 双子 ちゃん

遠藤 まなと 学人ちゃん・まさと 雅人ちゃん
 (左) (右) (生後7カ月・由良宿1区)

病気もせず、すくすく育っています。
 おじいちゃん、おばあちゃん、私達夫婦、兄、姉の8人家族です。家族が多いのでいろいろな面で助かっています。
 私は今年12月に仕事に復帰します。お互い思いやっで優しい子どもに育ててほしいと思います。



森 とうこ 荀子ちゃん・ことこ 琴子ちゃん
 (左) (右) (4才・下神)

今春帰郷し、新しい保育園で新しい友達と毎日楽しく過ごしています。琴子は絵が好きで、荀子はダンスが得意です。
 5月に妹が誕生し、ふたりともたくさんお世話をしてくれます。これからも仲良くのびのび健やかに育ててほしいと思います。



知っとなる？こんな北栄

吉岡俊蔵翁頌徳之碑
 (国坂浜) 集落センター敷地内



吉岡俊蔵は明治25年国坂浜に生まれ、貧しい家庭の中において尋常高等小学校を卒業した。実業家を夢見て大阪へ。薬種商に住み込み、苦学の末、薬剤師に合格。その後、吉岡薬種会社を創業した。大戦後の大不況、太平洋戦争等で、財を失いながら強固な意志とたくましい努力で乗り切った。
 人一倍の愛郷心の持ち主で、郷土の教育に熱い想いを寄せ、北条中学校に「吉岡文庫」を、小学校など地域へは多額の寄付をした偉人である。
 (「新修 北条町史」から)

JA鳥取中央農協
 農業構造改善センター (由良宿1区)



同センターは、農業の構造改善を推進する拠点施設として、旧大栄町農協が昭和48年12月、本所本館東側に竣工した。RC2階建て、面積509㎡、総工費3771万円の国庫補助事業として建設された。全盛期には、各生産組合等の大会や会合が連日開催され、情報発信基地として活用されていたが、農協合併とともに、その役目を終えていた。
 このほど、町とJAが共同出資した農業法人「(株)北栄ドリーム農場」の事務所として再出発をはたした。築43年目のご老体だが、まだまだ現役続行中である。

編集後記

久しぶりに広報広聴常任委員会の委員になり、議会議員としての活動を、町民の方にどう伝えていくか悩んでいます。
 特に、働く場所が少なく、学生の県外流出に歯止めがかからないことは、どの地方も抱えている人口減少問題です。ほかに医療、介護などの社会保障など、課題は山積みです。
 また、これからの必要な公共サービスを提供するための財政のあり方について、町民、議員がしっかりと議論していかねばと考えています。
 これからも提言と討論を重ね、町民の負託に応えたいと思います。
 (山下昭夫)

発行責任者 議長 井上信一郎
編集 広報広聴常任委員会
 委員長 田中 精一
 副委員長 油本 朋也
 山下 昭夫
 森本真理子
 宮本 幸美
 斉尾 智弘